

令和４年海津市議会第２回定例会

◎議事日程（第３号）

令和４年６月２０日（月曜日）午前９時開議

日程第１ 会議録署名議員の指名

日程第２ 議案第４３号 令和４年度海津市一般会計補正予算（第３号）

日程第３ 議案第４４号 令和４年度海津市介護保険特別会計補正予算（第１号）

日程第４ 議案第４５号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部
を改正する条例について

日程第５ 議案第４８号 令和４年度海津市一般会計補正予算（第４号）

日程第６ 派遣第２号 議員派遣について

◎出席議員（１５名）

１番	古川理沙君	２番	片野治樹君
３番	北村富男君	４番	小粥努君
５番	里雄淳意君	６番	橋本武夫君
７番	二ノ宮一貴君	８番	伊藤久恵君
９番	浅井まゆみ君	１０番	松岡唯史君
１１番	藤田敏彦君	１２番	川瀬厚美君
１３番	服部寿君	１４番	水谷武博君
１５番	伊藤誠君		

◎欠席議員（なし）

◎地方自治法第１２１条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

市長 横川真澄君 副市長 大江雅彦君

教 育 長	服 部 公 彦 君	総務部長併 選挙管理委員会 事務局書記長	寺 村 典 久 君
総務部参事 未来創生マネージャー	柴 澤 亮 君	総務部参事 情報化統括責任者(CIO) 補佐官	子 安 弘 樹 君
総務部次長兼 秘書広報課長	渡 辺 昌 代 君	市民環境部長	近 藤 三喜夫 君
健康福祉部長	近 藤 康 成 君	産業経済部長併 農業委員会 事務局局長	安 立 文 浩 君
産業経済部次長 (企業誘致担当)	菱 田 登 君	建設水道部長	中 村 勝 豊 君
教育委員会 事務局局長	大 橋 隆 幸 君	会計管理者兼 会計課長事務取扱	石 原 敏 彦 君
消 防 長	木 村 謙 二 君	総務部総務課長併 選挙管理委員会 事務局書記次長	伊 藤 聡 君
総 務 部 企画財政課長	山 崎 賢 二 君		

◎本会議に職務のため出席した者

議 会 事 務 局 長	佐 野 正 美	議 会 事 務 局 議 会 総 務 課 長 兼 議 会 総 務 係 長 兼 議 事 調 査 係 長	中 島 浩 子
議 会 事 務 局 議 会 総 務 課 主 事	石 原 進 吾		

◎開議宣告

○議長（伊藤 誠君） 定刻でございます。

ただいまの出席議員は15名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

（午前9時00分）

◎会議録署名議員の指名

○議長（伊藤 誠君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、議長において1番 古川理沙君、2番 片野治樹君を指名します。

◎議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）から議案第45号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてまで

○議長（伊藤 誠君） 次に、日程第2、議案第43号から日程第4、議案第45号までの3議案を一括議題とします。

さきに各常任委員会に審査が付託してありますので、ただいまより各委員長に審査の結果の報告を求めます。

最初に、総務産業建設委員長 二ノ宮一貴君。

〔総務産業建設委員長 二ノ宮一貴君 登壇〕

○総務産業建設委員長（二ノ宮一貴君） それでは、委員長報告をさせていただきます。

令和4年6月17日、海津市議会議長 伊藤誠様、総務産業建設委員会委員長 二ノ宮一貴。委員会審査報告書。

本委員会に付託された案件は、審査の結果、次のとおり決定いたしましたので、会議規則第109条の規定により報告します。

議案番号、件名、結果の順に報告します。

議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に属する事項、可決すべきもの。議案第45号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、可決すべきもの。

審査の経過を申し上げます。

議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に属する事項は、反対討論があり、審査・採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

なお、その他1案件は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定したことを併せて

御報告いたします。

また、主な質疑として、議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に属する事項の関係で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の意義と目的の質疑があり、新型コロナウイルスの感染拡大防止と感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等を通じた地域創生に資する事業について、自由度が高く活用することができる交付金であること、また今回の補正予算で実施する事業は、従来分として、令和3年11月19日に閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための経済対策に掲げられた、1. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止、2. ウイズコロナ下での社会経済活動の再開、感染症対策の徹底、3. 未来社会を切り開く新しい資本主義の起動、以上3つのカテゴリーの中の事項に対応するものであるとの答弁がありました。

なお、令和4年度に創設された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）を活用する事業については、追加の補正予算案を提出する予定であるとの説明がありました。

次に、総務管理費、ハイブリッド街路灯改修等工事の詳細についての質疑があり、修繕工事ではなく、不点灯になっている街路灯について、太陽光パネル、風車を撤去し電線につなぐ等の改修を行うこと、また風力発電の風車は落下の危険性が高いことから、台風シーズンの前を目標に一斉撤去する旨の答弁がありました。

次に、総務費、市役所内でのキャッシュレス決済の利用状況や4支所への決済端末導入目的についての質疑があり、3月からの導入で、まだ期間が短く約6%の利用率となっている。また、4支所においては、現在Pay Payのみの導入であるため、支払いの選択肢を増やすことなどを目的としている旨の答弁がありました。

次に、商工費、地域と一体となった観光地の再生、観光サービスの高付加価値化事業（交通連携型）負担金の詳細について質疑があり、にしみのライナーリレーバスをラッピングし、千代保稲荷神社において和のハロウィンイベントを開催する。このイベントは、名古屋圏でのにしみのライナー周知を目的とする旨の答弁がありました。

次に、常備消防費、備品購入費の内容について質疑があり、今年の1月よりコロナ患者の救急搬送増加と市民参加の救命講習再開のため、訓練人形2セット、コロナ感染症防護服50着等を購入する旨の答弁がありました。以上でございます。

○議長（伊藤 誠君） 続きまして、文教福祉委員長 伊藤久恵君。

〔文教福祉委員長 伊藤久恵君 登壇〕

○文教福祉委員長（伊藤久恵君） 令和4年6月17日、海津市議会議長 伊藤誠様。

委員会審査報告書。

本委員会に付託された案件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第109条

の規定により報告します。

議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に属する事項、結果といたしまして、可決すべきもの。議案第44号 令和4年度海津市介護保険特別会計補正予算（第1号）、結果、可決すべきもの。

審査の経過を申し上げます。

ただいま報告しました2案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しましたことを併せて報告します。

また、主な質疑として、議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に属する事項の関係で、社会福祉総務費、高齢者を詐欺の犯罪から守るため偽電話詐欺防止グッズについての予算15万7,000円の詳細について質疑があり、大垣警察署と100円ショップセリアとの共同開発による商品で、電話機に取り付け、受話器を取るとセンサーで反応し、この電話は特殊詐欺防止のため自動で録音させていただきますという音声が出る仕組み。配付の対象は70歳以上の独り暮らしの見守り世帯と75歳以上の高齢者世帯を予定しており、8月頃より民生委員・児童委員を通じて配付予定がある旨の答弁がありました。

小学校管理費、下多度小学校の消防設備修繕において、不具合が発生した時期と予算対応についての質疑があり、令和4年1月の消防設備点検で不具合を確認し修繕する工事で、不具合箇所の特定期間が2月下旬となったことから当初予算には間に合わず、今定例会の補正予算で対応する旨の答弁がありました。

議案第44号 令和4年度海津市介護保険特別会計補正予算（第1号）の関係で、認知症総合支援事業費の映画会の詳細について質疑があり、令和2年度より認知症普及啓発を目的とした映画会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、中止を余儀なくされました。上映予定の作品は、介護職の魅力や家族の葛藤、認知症の方を地域でどう支えていけるかを改めて考えることができる内容である。9月の世界アルツハイマー月間に合わせてOCT文化センターで映画会の開催を予定している旨の答弁がありました。以上でございます。

○議長（伊藤 誠君） 各委員長の報告が終わりました。

それでは、各委員長の報告に対する質疑を行います。

初めに、総務産業建設委員会付託案件の質疑を許可します。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊藤 誠君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

続きまして、文教福祉委員会付託案件の質疑を許可します。

〔挙手する者なし〕

○議長（伊藤 誠君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論・採決を行います。

初めに、議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）について討論を行います。

討論の通告がありますので、発言を許可します。

10番 松岡唯史君。

〔10番 松岡唯史君 登壇〕

○10番（松岡唯史君） 議長のお許しをいただきましたので、討論をさせていただきます。

議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）、反対。

私は、本議案について反対をします。

理由として、1つは、国からの新型コロナ対応臨時交付金の使われ方に疑問があること、そしてもう一つは、マイナンバーカードの新規取得者への市内商品券配付事業として909万8,000円が計上されているからであります。

先日の総務産業建設委員会において、新型コロナ対応臨時交付金についての説明があり、今回補正予算として計上されております電気自動車の購入やマイナンバーカード普及事業等へも新型コロナ対応臨時交付金が活用できるとのことでありました。

しかし、長引くコロナ禍で厳しくなっている市民生活や地域経済のために、この新型コロナ対応臨時交付金を活用してできる事業がもっとほかにあるのではないのか、コロナ対応としてもっと効果的な事業があるのではないのかと私は強く思っております。

この新型コロナ対応臨時交付金の使い道については、これまでもテレビですとか新聞などで度々取り上げられることがあり、先日も一部の自治体では、公用車購入や県民による結婚式の費用に充てられていたなど、感染症対応との関連性が明確でない事業への支出がいまだ相次いでいたと東京新聞で報道されておりました。

同記事によりますと、今年5月30日の参議院予算委員会で岸田首相が政府としてもしっかりと検証しなければならないと話したとのことであります。

そもそも同交付金は、新型コロナの感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図るために創設されたものであります。

確かに今回の補正予算に計上されているものは、同交付金の活用できる範囲内なのかもしれませんが、長引くコロナ禍の中で果たして電気自動車の購入ですとか、マイナンバーカード普及事業等がほかに優先されるべきものなのか、コロナ対応のための取組として市民の理解が得られるのか疑問でなりません。

また、マイナンバーカードの新規取得者への商品券の配付は、今回で2回目でありまして、

前回は反対をしており、繰り返しになりますが、補正予算概要説明書に地域経済の活性化を図るためと記載されております。そうであれば、マイナンバーカード新規取得者に限らず全市民へ商品券を配付するほうがより効果的ではないのか、そしてそもそも行政の都合で賛否のあるマイナンバーカードを市民へ普及させたいがために、新型コロナ対応臨時交付金を使ってマイナンバーカードの新規取得者へ商品券を配付する、そういった手法も間違っていると私は考えます。

以上の理由から、本補正予算案に反対をいたします。

○議長（伊藤 誠君） 次に、6番 橋本武夫君。

〔6番 橋本武夫君 登壇〕

○6番（橋本武夫君） それでは、議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）について、賛成討論をさせていただきます。

本議案は、デジタル社会への対応策が盛り込まれるなど、適切と考え賛成をいたします。

では、詳細を説明させていただきます。

本補正予算の歳入に4,906万2,000円の増が計上されている新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細かに必要な事業が実施できるよう創設されたもので、コロナ対応の取組である限り、原則地方公共団体が自由に使うことができるものと理解をしています。

その自由度ゆえに、その使い方に疑問符がつくような例が各地で散見されていることも承知をしていますが、本補正予算に計上された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とした事業は、交付対象事業に示された例の範囲内であり、同交付金の適切な使い方であると考えます。

とりわけ、マイナンバーカードの普及促進及び新型コロナウイルス感染症により疲弊した地域経済の活性化を図るために実施するマイナンバーカードの新規取得者に商品券を配付する事業は、デジタル社会へのパスポート、デジタル社会のインフラと言われるマイナンバーカードの普及によって市民の利便性向上に寄与するとともに、市内事業者にとって有益なものと考えます。

また、マイナンバーカードを活用した「行かない窓口」の実現を目指した関連予算が計上されていることも評価に値するものです。

さきの一般質問では、住民票の10%がコンビニで発行されており、市民の利便性が向上したとの答弁をいただきましたが、そもそもマイナンバーカードがあれば市民が何もしなくても行政サービスを利用できるようにすることが真のDXであると考えます。

今後も真のDXが推進されることを期待して賛成討論とします。

○議長（伊藤 誠君） 次に、8番 伊藤久恵君。

〔8番 伊藤久恵君 登壇〕

○8番（伊藤久恵君） 議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）について、反対討論をさせていただきます。

政府の借金は2021年度末時点で1,241兆円を超えて過去最大となっています。さらに物価上昇への緊急対策と称して、この4月末、6.2兆円規模の国費投入を決定しました。

本市においても、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金より、マイナンバーカードを申し込む方だけに再度3,000円の交付を行うという補正予算が組まれました。

コロナ感染拡大によって経済的に生活に苦しむ人や企業等のためにと銘打ってなされた現金給付施策でしたが、現在、驚くような給付金詐欺事件が次々と新聞・テレビをにぎわしています。これは一体何を意味するのでしょうか。

知恵と汗を流して一生懸命働いた者から勞せずには財産を取り上げ、再分配するというばらまき政策とは、勤勉に働く者がばかを見る、まさに怠惰を進め、人を墮落させる政策や施策だと思うのですが、本市の首長であられる市長はいかがお考えになられるのでしょうか。

人の心の弱さに付け込んで、政府や自治体という権力が政策を進めるために、自分たちの利益のために餌で魚を釣るがごとく人を釣るばらまき行為は正しいことでしょうか。これは政権与党にも言えることでありますが、国民や市民を愚弄しています。いいかげんにばらまきはやめていただきたいと切にお願いいたします。

私たち市民もそろそろ気づくべきです。補助金や給付金をもらって終わりではない。1,241兆円をはるかに超える財政赤字を積み上げて、さらにばらまき政策を進めていますが、一体誰がこの財政赤字を埋めるのでしょうか。

それは、必ず私たち市民に返ってきます。いずれ公的保険料や大增税の形で将来の世代にツケが回ってくる可能性が高いと言えます。その結果、人々は真面目に働く気がなくなります。これを続けて社会が繁栄するのでしょうか。日本の明るい未来が果たして描けるのでしょうか。

次に、マイナンバー制度に関して幸福実現党は反対しています。マイナンバー制度推進で、個人情報の漏えいも危惧されます。また、既に現実化していますが、中国などのサイバー攻撃に対する日本の防衛力は実に脆弱であり、デジタル推進によって日本はさらなる危機にさらされる事実を知らなくてはなりません。

政府はデジタル庁をつくり、マイナンバー制度を推進すると便利になり、給付金などの配付がスムーズになると言っています。しかし、逆も真なりと申しますか、政府は個人を番号で管理し、様々な情報をひもづけして国民を監視し、一元管理し、どこに課税すべきかを見ているのかもしれませんが。

便利さの代わりに自由が奪われていくのです。これこそ全体主義国家への道ではないでしょうか。北朝鮮や中国のような奴隷社会が現れるのではないかと考えます。

このような理由から、前回と同様に理に合わないばらまき施策には断固反対いたします。

○議長（伊藤 誠君） ほかに討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（伊藤 誠君） 討論なしと認め、討論を終結します。

これより議案第43号を採決いたします。

この採決は起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は可決すべきものです。

本案を委員長の報告のとおり可決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（伊藤 誠君） 着座願います。

議員総数14名、起立者12名、起立多数です。よって、議案第43号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第3号）については、委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第44号 令和4年度海津市介護保険特別会計補正予算（第1号）の討論を行います。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（伊藤 誠君） 討論なしと認め、討論を終結します。

これより議案第44号について採決いたします。

お諮りします。議案第44号については委員長の報告のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊藤 誠君） 異議なしと認めます。よって、議案第44号 令和4年度海津市介護保険特別会計補正予算（第1号）については、委員長報告のとおり可決することに決定しました。

続きまして、議案第45号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についての討論を行います。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（伊藤 誠君） 討論なしと認め、討論を終結します。

これより議案第45号を採決します。

お諮りします。議案第45号については委員長報告のとおり可決することに御異議ありませんか。

んか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊藤 誠君） 異議なしと認めます。よって、議案第45号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例については、委員長報告のとおり可決することに決定しました。

◎議案第48号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第4号）

○議長（伊藤 誠君） 次に、日程第5、議案第48号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第4号）を議題とします。

市長より提案説明を求めます。

市長 横川真澄君。

〔市長 横川真澄君 登壇〕

○市長（横川真澄君） ただいま追加提出いたしました議案につきまして、その概要を御説明申し上げます。

議案第48号の令和4年度海津市一般会計補正予算（第4号）につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の長期化及び原油価格・物価の高騰により大きな影響を受ける市民生活や事業活動を支援することを目的に、市独自の総合的な緊急対策を実施するため、歳入歳出にそれぞれ2億6,511万7,000円を追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ159億8,009万9,000円とするものであります。

歳出の主なものといたしましては、低所得の子育て世帯を対象とした子ども1人当たり5万円の国からの給付額に、市独自で2万円の上乗せを行った子育て世帯生活支援特別給付金3,995万1,000円、低所得の子育て世帯への海津市産米の支給事業費351万5,000円、18歳以下の子どもを有する世帯への生活応援給付金8,688万4,000円、新生児への臨時特別給付金1,201万3,000円、キャッシュレス決済のポイント還元事業費6,242万7,000円などを生活支援対策として計上するとともに、産業支援対策として燃油価格高騰の影響を受ける農林水産業者への支援事業費2,602万円、飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家への支援事業費1,596万5,000円などを計上いたしました。

続いて、歳入につきましては、国庫支出金で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2億2,848万6,000円、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金2,840万円を追加し、一般財源として繰越金823万1,000円を追加いたしました。

以上、提出いたしました追加議案につきまして、提案理由を申し上げます。何とぞよろしく御審議いただきまして、適切な御議決を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（伊藤 誠君） 市長より提案理由の説明が終わりました。

ここでしばらく休憩いたします。

(午前9時29分)

○議長（伊藤 誠君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

(午前10時09分)

○議長（伊藤 誠君） これより、議案第48号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第4号）の質疑・討論・採決を行います。

初めに、質疑を許可します。

質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（伊藤 誠君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

お諮りします。本案件は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊藤 誠君） 異議なしと認めます。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（伊藤 誠君） 討論なしと認め、討論を終結します。

これより議案第48号を採決いたします。

お諮りします。議案第48号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊藤 誠君） 異議なしと認めます。よって、議案第48号 令和4年度海津市一般会計補正予算（第4号）については、原案のとおり可決することに決定しました。

◎派遣第2号 議員派遣について

○議長（伊藤 誠君） 次に、日程第6、派遣第2号 議員派遣についてを議題とします。

本案を議会事務局長が朗読します。

議会事務局長 佐野正美君。

○議会事務局長（佐野正美君） 御説明いたします。

派遣第2号 議員派遣について。

議員派遣一覧表をお願いいたします。

目的は、第288回岐阜県市議会議長会議、議員の資質向上のためでございます。開催場所につきましては、郡上市八幡町島谷207－1、郡上市総合文化センターでございます。期間は、令和4年7月13日の1日間でございます。出席者は、議長 伊藤誠議員、副議長 里雄 淳意議員でございます。以上でございます。

○議長（伊藤 誠君） ただいま議会事務局長が朗読しました派遣第2号の議員派遣についてお諮りします。本案について、議員派遣一覧表のとおり議員を派遣することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊藤 誠君） 異議なしと認めます。よって、派遣第2号 議員派遣については、原案のとおり議員を派遣することに決定しました。

◎閉会の宣告

○議長（伊藤 誠君） 以上をもちまして、今定例会に提出されました案件は全て議了いたしました。

これをもちまして、令和4年海津市議会第2回定例会を閉会します。御苦労さまでございました。

（午前10時11分）

上記会議録を証するため下記署名する。

令和4年7月29日

議 長 伊 藤 誠

署 名 議 員 古 川 理 沙

署 名 議 員 片 野 治 樹